

科目	身体障害作業療法学実習	担当	飯塚 照史	履修学年	3年
時間数	90分×時限×24回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

本科目では、中枢神経疾患、整形外科疾患に対する症例検討の基本を習得するために、臨床実践に即した症例報告作成・発表および計画立案と実施を行う。受講者は、①対象者の症状に即した評価ができるようになること、②症例の評価結果から課題整理ができるようになること、③作業療法目標設定、プログラムの立案ができるようになること、④症例報告を作成・発表し質問に対して自己の考えを述べるができるようになることを目標とする。

【履修注意】

毎回出席を原則とする。本科目では、専門基礎科目と作業療法専門科目の知識と技術を応用すること、グループワークならびに個人での取り組みを通じて、自己の考えをまとめ意見を述べることを意識しながら取り組んでほしい。なお、予定変更の場合もある。

【評価方法】

- ①レポート、発表等に対する評定
- ②出席状況(2/3以上の出席に満たない者は評定対象から除外する)

【試験について】

再試験は行わない。

【予習・復習】

総合力が求められるために関連科目の復習を徹底して授業に臨むこと。

【教科書】

書籍名:作業で語る事例報告 作業療法レジメの書きかた・考え方 編集:斎藤佑樹 出版社:医学書院
 書籍名:作業処方 症例の分析と思考のプロセス 監修:竹田淳司 出版社:メディカルビュー

【参考書】

書籍名:ICFの理解と活用 著者:上田敏 出版社:萌文社
 他の身体障害に関連する専門基礎および専門科目の教科書

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	症例報告①	トップダウン・ボトムアップ・事例報告の目的と流れ
2	症例報告②	中枢疾患症例に対する評価・治療・トピック
3	症例報告③	中枢疾患症例提示・評価・問題点整理・治療計画立案
4	症例報告④	整形外科疾患症例(上肢)に対する評価・治療・トピック
5	症例報告⑤	整形外科疾患症例(上肢)提示・評価・問題点整理・治療計画立案
6	症例報告⑥	整形外科疾患症例(下肢)に対する評価・治療・トピック
7	症例報告⑦	整形外科疾患症例(下肢)提示・評価・問題点整理・治療計画立案
8	症例報告⑧	OSCE対策・緩和期における作業療法・トピック
9	症例報告⑨	事例報告レポートまとめ・プレゼンテーション資料作成
10	症例報告⑩	リスク管理・ICUにおける作業療法・トピック
11	症例報告⑪	プレゼンテーション資料発表・まとめ・フィードバック
12	症例報告⑫	疼痛性疾患の基礎知識・評価・治療
13	客観的臨床能力試験	実技試験・フィードバック
14		
15		
16		